

2018 年度

アメリカ留学報告書

留学先：University of Central Missouri

留学期間：8月22日～12月7日

新潟国際情報大学
国際学部 国際文化学科
学籍番号：21017071
鈴木 大号

目次

- 1.留学先及び実習期間……………p.3
- 2.留学先概要……………p.3
- 3.留学目的
- 4.留学内容
 - 研修スケジュール
 - 研修詳細
- 5.目標に対する自己評価、派遣によって得られたこと
- 6.反省、課題
- 謝辞
- 付録

1

留学先：University of Central Missouri

留学期間：平成 30 年 8 月 22 日（水）～平成 30 年 12 月 6 日（木）

※帰国日：12 月 7 日（金）

2 留学先概要

(1) 大学について

University of Central Missouri（以下セントラルミズーリ大学）はアメリカ、ミズーリ州のウォーレンズバーグという都市に位置している。専門科目が非常に多く存在しており、学生は幅広い分野を学ぶことができる。また、学問以外にもスポーツも盛んでミュールズと呼ばれるアメリカンフットボールのチームが学区内のスタジアムで試合を開くことが度々ある。学生の人数は 13,000 人と大規模で、州以外からも全米 43 州、57 カ国からの留学生が集まっている。大学の周辺は自然に囲まれており、街並みも閑静で過ごしやすい環境となっている。

(2) 大学で行われている教育について

セントラルミズーリ大学の教育は質が高く、様々な国から留学生を受け入れている。今回の留学でお世話になった語学コースは、1 から 9 までの段階に分かれ、1 クラスあたり 10 人前後の人数で授業を受ける。個人個人に合ったレベルで授業を受けるので、学業面を充実させることができる。また、日本以外の留学生と共に授業を受けることもあり、時に協力して問題を解き、ディスカッションを行うこともある。

3 留学目的

今回の留学における目的は、各々の英語力を向上させることと直接アメリカの文化や生活に身を置き、体験することである。日本国内ではリスニングやライティングの力を向上させることはできても、スピーキング力を向上させることは難しいと思う。また、言語として英語を日常化することで、スピーキング力だけでなくリスニング力も同様に向上できるのではと考えた。他にも TOEIC でこれまで以上のスコアをとることも目的として臨んだ。ネイティブの先生からの指導を受ければ、より細かなポイントを見つけたり、聞き取ったりすることができると思う。

また、アメリカ文化と日本文化の相違点などを直に体験し、比較するという事も目的としていた。ただ耳にしたり情報を見ただけでは知りえない情報が学べると思い、自分たちで直接触れ、経験し、それらを日本に広め、そして日本文化を発信していくことを目的とした。

4 研修内容

以下から研修の内容を記述する。

4-1 研修のスケジュール

研修期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日 (曜日)	内容
8	23 (木)	到着、チェックイン
	24 (金)	学生証作成、買い物
	27 (月)	授業開始
	28 (火)	プレースメントテスト
	29~31	ELI クラス
9	4~6	ELI クラス
	7 (金)	催し物、ブラスバンド見物
	10~14	ELI クラス
	15 (土)	ゴルフ、ショッピングモールへ買い物
	17~21	ELI クラス
	22 (土)	トルーマン博物館、カンザスシティで買い物
	24~28	ELI クラス
10	1~5	ELI クラス
	8~12	ELI クラス
	12 (金)	ボンファイアに参加、ジャック・オー・ランタン作成
	20~22	ホームカミングパレード
	23~26	ELI クラス
	29~31	ELI クラス
11	1~2	ELI クラス
	5~9	ELI クラス
	12~16	ELI クラス
	17 (土)	サンクスギビングディナー(ホストファミリーの家でいただく)
	19~23	サンクスギビング(ニューヨークへ旅行)
	26~30	ELI クラス
12	3~6	クラスファイナル、アワードセレモニー、帰国

4-2 研修の詳細

スケジュールに記載されている各項目の内容は以下のとおりである。

1) チェックイン

学校のメールアドレス登録、Wi-Fi の設定、学生証の発行などの生活に必要な諸事を済ませた。

2) プレースメントテスト

各授業のクラス分けテスト。TOIEC 形式の問題で、成績によりクラス分けがされる。

3) ELI クラス

英語やアメリカの文化、歴史を学ぶための授業。内容はリーディング、ライティング、コミュニケーションスキル、文法、アクセントリダクション、アメリカンカルチャー、アメリカンヒストリー、USA & Japan Relation、TOIEC である。コミュニケーションスキルではグループワークの機会が多く、英会話の練習にもなる。

4) 催し物

セントラルミズーリ大学ではイベントが多く開催される。フットボールの試合やブラスバンドの演奏を見ることができる。

5) ゴルフ

今回の留学では交流を深めることを目的として、カンザスシティのゴルフ場へ赴いた。グループはランダムで決められるため、他の留学生と話す良い機会になった。

6) ショッピングモール

前述のゴルフの後、カンザスシティにある大規模なショッピングモールへ行った。これ以外にも数回、別のショッピングモールへ行く機会がある。

7) トルーマン博物館

アメリカの歴史を知る一環として行った。館内にはトルーマン大統領の関わった出来事についての記事や、大統領の書斎を再現した部屋などがある。

8) ホームカミングパレード

セントラルミズーリ大学の卒業生を祝う祭事。パレードが開かれ、各国の学生が自国を表現した衣装などを着て参加した。

9) ボンファイア

大学近くの教会へ行き、ボンファイア（焚火）をした。ソーセージやマッシュマロを串に刺し、焼いて食べるという貴重な体験をした。食事の後、教会の中でジャック・オー・ランタンの装飾を施した。

10) サンクスギビング

1 週間近くあるアメリカの伝統的な連休。ホストファミリーからの招待でディナーをごちそうになったり、自分たちでアメリカ国内の旅行にも行ける。

11) アワードセレモニー

ELI の留学生が授業課程を修了したことを祝うセレモニー。卒業証書のようなものをもらい、留学生活の最終日となる。

5 目標に対する自己評価、派遣によって得られたこと

今回の留学の結果についてまとめる。

I) 自身の英語力の向上

今まで聞き取ることはできてもワンパターンな受け答えしかできなかったが、常に身の回りが英語であったおかげで対応できるようになった。何よりも分布や英文に対する読解力が上がり、TOEIC のリーディングスコアが以前よりも伸びたので今回の留学は自分にとって非常に有意義であったと思う。

II) アメリカの文化を体験すること、日本との相違点

ホームカミングとサンクスギビングがいかにもアメリカらしい文化であると思う。各大学で卒業生たちが各々の大学に来ることを祝う風習は日本にはないため、貴重な体験となった。サンクスギビングのように週を通して感謝を与えるという風習も日本にはなく、良い経験となったが、サンクスギビングディナーで決まった料理を出すという事は日本の冬至や正月に似ていると思う。

6 反省・課題

母国語の通じない地域に約3か月いたことで自身の英語力を磨けたことは大変うれしく思う。また、人と話す機会が多かったため精神的な面においても成長できたと思う。課題としては TOEIC の読解問題をより速く正確に答えられるようになることである。長文問題になれることを今後の目標としたい。

謝辞

初めに今回の留学に携わってくださった方々全員に感謝しております。留学資金をくれた親はもちろん、留学選考やビザ発行手続きなどに協力してくださった国際情報大学の先生方、留学先で指導をしてくださった先生方のおかげで無事に留学を成功させることができました。この留学で学んだ様々なことを忘れず今後も英語力の向上を精進したいと思います。最後になりますが、新潟国際情報大学からいただいた奨学金のおかげで大変貴重で有意義な時間を送ることができましたことを心から感謝いたします。

付録①：留学先での授業項目および時間割

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
1 st	Reading Skills	Communication Skills	Reading Skills	Communication Skills	USA Japan Relations
2 nd	Writing Skills	Grammar Skills	Writing Skills	Grammar Skills	American History
3 rd	Accent Reduction	TOEIC	Accent Reduction	TOEIC	
4 th	Reading Lab	American Culture	Writing Lab	American Culture	
5 th				English Cafe	

※Reading/Writing Lab はクラスのレベルごとに内容が違う

English Café はセミナー後半になってからある

付録②：留学中に撮った写真

